

PROFILE

熊本市生まれ。少年の非行防止に長く携わる。女性が被害者となる事件や北京語の通訳なども。

熊本県警察本部
警務部警務課総合企画室企画第一補佐(警部)



道はずれた子供たちが
自分の力で人生を立て直す姿に
感じる喜び

熊本県警察本部
熊本市中央区水前寺6-18-1
TEL : 096-381-0110

輝きの軌跡

2014年	2013年	2012年	2002年	1997年	1990年
熊本県警察警務課 総合企画室勤務	熊本県教育庁へ 出向	安全課長を務める 玉名警察署で生活	警部に昇任。 警部補に昇任	巡査部長に昇任	熊本県警察拝命

石井 朋子 さんの
キャリアストーリー



取材担当
熊本大学3年
田中 彩水

一仕事内容を教えてください。

石井 警務課では、人事、採用、装備品の管理など、県警の人的・物的基盤を担っています。その中で私の所属する総合企画室では、治安計画の策定といった運営の企画などを担当しています。また、女性警察官が出産、育児を経て働き続けられる環境づくり、女性の採用拡大業務など「女性の視点を一層反映した警察運営」に取り組んでいます。

一現在熊本県警には女性は何人いますか。また、石井さんはどのようにキャリアを重ねてこられましたか？

石井 現在熊本県警には、女性警察官は約180人います。全体の人数からするとまだ少ないので徐々に増やしているところです。私自身は今までに、少年犯罪や性犯罪の捜査、相談受理、また北京語の通訳として幅広い事案に関わってきました。少年係になって最初の一年は、それまでの自分の人生で知り得なかった深刻な家庭環境に置かれている子供たちを多く担当しました。衝撃の連続でした。家庭環境のストレスなどによって、非行や性非行に走ってしまう子供たちが本当にたくさんいます。

一大変な仕事だと思いますが、どんなときにやりがいを感じますか。

石井 少年非行の背景にある問題はより多層的で複雑です。彼らとの関わりの中で私自身多くを学びましたし、仕事へのやりがいも強くなりました。少し道はずれた子供や人間関係などでさまざまな悩みを抱えた子供たちが、自分の力で人生を立て直していく姿に立ち会えるのは特にうれしいですね。

一これからの目標を教えてください。

石井 私が仕事を通し、経験して積み上げてきたことを、後輩に伝えていきたいです。そして、女性警察官がもっと活躍できる環境をつくっていきたくと思っています。

子を持つ親には、目をそらさないで、危機感を持って、子供たちの置かれている現状に向き合ってほしいです。

